YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	**KA**	**学部・学科**	**国際商学部**
学 年	**3 年**	**派遣国**	**タイ王国**
派遣大学	**チェンマイ大学**		
期 間	**2025 年 11 月 2 日～　2026 年 3 月 31 日**		

【生活編】

1．滞在先

滞在形態	学内の学生寮 ／ 学外の学生寮 ／ アパート ／ その他（　ホテル　）					
部屋	個室 ／ 2 人部屋 ／ 3 人部屋 ／ その他（　　）					
設備	*共同＝◎　部屋にあるもの＝○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	×	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約（　　35,000　　）円　*1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	（　　歩き　　）で、約（　25　）分　*大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2．日常生活

（1）1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	35,000 円	朝 200 円　昼 300 円　夜 300 円
学用品購入費	500 円	たまに文房具
交通費	3000 円	Grab（配車アプリ）
交際費	3000 円	
その他	300 円	カフェ
合計	**41,500 円**	*概算で記録してください。

（2）治安状況・危険地域など

治安は全体的に良い印象である。スリなどにはあったことがないし、チェンマイのゆるい雰囲気は信頼の元に成り立っていると感じることが多くある。それほど遅くなければ、夜でも女性一人で歩くこともできる。しかし、場所によっては歩道がなかったり、野良犬がいたりするので歩く道は選んだ方が良い。大麻が合法な国ではあるが、勧められたことはない。

３．海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 ／ その他（　　）		
加入期間	（　6　）ヶ月間	保険料	（　　60,580　　）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	（　　）ヶ月間	保険料	（　　）円

４．滞在都市についての情報

滞在都市／町（　　**チェンマイ**　　）

タイの第二の首都と言われている。3～4 月が最も暑いと言われており、その後は 10 月頃まで雨季が続き、その後は乾季となる。チェンマイの乾季は朝晩が特に冷えこみ、羽織が必要になるほどである。日本と比べるとかなり暑いが、バンコクよりは過ごしやすい印象である。

電車はなく、バスもほとんど使うことはないため、移動は歩きか、grab となる。

町を歩いていると急にお寺が現れる。また、自然が多くのんびりとした雰囲気を感じることが出来る。チェンマイ大学にあるアン・ゲオという湖は学生だけではなく、海外からの観光客にも人気がある。湖と山々が一望できとてもきれいな場所である。

有名な観光地であるチェンライまでは車で 3 時間ほど。

【学業編】

1．大学情報

大学	チェンマイ大学	所在地	タイ、チェンマイ
最寄空港	チェンマイ空港	空港からの距離	7 ㎞ほど
空港⇔大学	（ grab ） *移動手段		
学生数		留学生数	
学部	Faculty of Mass Communication Faculty of Agriculture Faculty of Dentistry Faculty of Associated Medical Sciences Faculty of Law Chiang Mai University Business School Faculty of Nursing Faculty of Medicine Faculty of Pharmacy Faculty of Humanities Faculty of Political Science and Public Administration Faculty of Fine Arts Faculty of Science Faculty of Engineering Faculty of Education Faculty of Economics Faculty of Architecture Faculty of Social Sciences Faculty of Veterinary Medicine Faculty of Public Health Faculty of Agro-Industry International College of Digital Innovation Multidisciplinary and Interdisciplinary School College of Art, Media and Technology School of Public Policy Chiang Mai University Biomedical Engineering Institute *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of Humanities *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

２．週間スケジュール

①（　11　)月～(　　3　　)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業			授業	
午後	授業	授業		授業	授業

②（　　)月～(　　)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後					

3．履修内容

科目	Language, Mind, and the World		
履修期間	11 月~3 月	単位数	3
授業内容／形態	主に、教授がスライドを使って進める一斎授業		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Thai Pop Culture in Contemporary Media		
履修期間	11 月~3 月	単位数	3
授業内容／形態	一斎授業＆グループワーク		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Thai in Everyday Life 2		
履修期間	11 月~3 月	単位数	3
授業内容／形態	主に、教授がスライドを使って進める一斎授業。たまにミニクイズ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

＜総括＞

（1）全体的な感想　　*留学生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

多くの人は留学で語学力を上げたいと考えていると思いますし、私もそうでした。ですが私の経験した留学生活では、英語はもちろんですが他にもタイ語や、そして日本語を使う機会がとても多かったです。チェンマイ大学には日本語学科があり私はその学科の方々と仲良くなったからです。最初は英語を使えないことへの焦りや不安がとてもありました。ですが彼らと接していくうちに、彼らの日本に対するイメージを理解できたり、日本語の勉強を頑張る姿を見られたり、貴重な体験をすることができました。そしてそれと同時に、日本に行きたくても金銭的に日本に行けないと悩んでいる生徒がいることもわかり、力になりたいと思うようにもなりました。日本語学科はどこの大学にもあるわけではないと思うので、とても貴重な体験だったと思います。最初はあまりポジティブに捉えることができませんでしたが、今ではこのことの良さに気づくことができ、自分のマインドの変化も大きな成長だと感じています。

もちろん、英語を使う機会もあり英語の力お少しは伸びたと感じています。特にホテルが同じだったイタリアからの留学生とはとても仲が良くなり、彼女とはいつも英語で会話をしていました。彼女は私の英語が分かりづらいときでも真剣に聞いて理解しようとしてくれたため、英語を話すことが楽しいと感じるようになりました。彼女にもっと色々なことを英語で伝えたいと思うことが、私にとって英語を学ぶモチベーションにもなりました。最初は英語ができないから、あまり友達が作れないかもしれないと考えてしまうことがありましたが、今は英語力も精神面も少し成長したのでもっといろんな人と英語で会話したいと思うようになりました。

タイは同じアジア圏でも、日本とはたくさんの違いがありました。気候や、交通、ルール、外食文化、現地の人々の雰囲気など、最初はなかなか慣れることが出来ませんでしたがこの約半年間でかなり適応できるようになったと思います。特に私がカルチャーショックを受けたのは、仏教に関することです。タイは日本の大乗仏教とは違い上座部仏教のため、暮らしのなかに多く仏教の要素があり決まりも厳しいです。女性は絶対にタイのお坊さんに触れてはいけなく近づかないようにしていました。また、女性だけが入れないお寺があるなどもどかしく思う場面も多くありました。またタイには徴兵制度があることや、国王の存在の大きさなど、興味深い違いが多くありました。このようなカルチャーショックを受けることでその国について知ることの重要性に気づくことができ、今は少しずつですが色々な国の文化や歴史、宗教についてユーチューブなどで学ぶようになりました。

（2）今後の展望　　*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

まず、私はポジティブなマインドを持つことができるようになったと思います。自分が想定していたものと違った場合でもその中から、良さを見出したり解決策を考えたりできるようになりました。このことは、自分だけではなく他の人にも活用することが出来ると思います。グループで何か問題にぶつかったときなど、みんなを鼓舞して良い方向に持っていけるようにしたいです。

また日本語を学習しているタイの学生と関わったことで少しでも力になりたいと思うようになり、今はゼミの先生の力を借りてプロジェクトを立ち上げようと考えています。小規模なものではありますが、タイの学生と日本の学生がオンラインで交流できる機会を提供できればと思っています。ゼミの先生もとても興味を持ってくださり、早く形になるよう活動できたらと思っています。

タイで学んだ文化の違いというのは私が今世界の文化や宗教を学んでいるきっかけでもあり、このことは今後様々な人と関わるうえでとても大切だと感じています。今後もこのような勉強を続けていくこと、また、学んだことを活かして、失礼のないように海外の方と接せられるようになりたいです。そして国際的な交流の場面でも教養を持った人として活躍できるようになりたいです。

（3）後輩へのアドバイス　*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

私は留学中、自分の思い描いていた生活と違い、葛藤の日々を一時期送っていました。しかし、そんな状況から自分をポジティブな方向へと持っていくことができました。自分の目標を達成するために努力することはもちろん大切ですが、目標に足らわれすぎないことも大事だと思います。私は英語を上達させたいという目標にとらわれることを辞めてから、自分が今、とても素敵な体験をしているのだと気づくことが出来ました。（もちろん、チェンマイ大学に留学して英語を上達させる方法はたくさんあります。私はたまたま日本語学科の友達が多かっただけです。）留学を通して得られることは人それぞれだと思います。もしかすると、私のように自分の目標や夢に固執することを辞めることでその‘得られること’に気づけるかもしれません。留学の後半でやっと、自分が成長できたことに気づける瞬間が多くありました。なので、もし留学に行って自分の成長に関して思い悩むことがあっても安心してほしいです。終わったころには行って良かった！と思えるはずです！